

「感染拡大警報」の発令に関する鹿児島県知事メッセージ

新型コロナウイルス感染防止対策の県民の皆さまへのお願い

令和3年5月7日
(新型コロナウイルス感染症対策室)

■ はじめに

- 県民の皆さまの命を守るために、日夜献身的に貢献していただいております医療従事者の皆さま方、そして感染防止にご協力をいただいております全ての関係者、県民の皆さまに感謝を申し上げます。

■ 冒頭

- ゴールデンウィーク期間に入り、本県における感染が急拡大しております。こうした現時点の感染状況と専門家のご意見を踏まえ、感染拡大の警戒基準をステージⅡからⅢに引き上げ、本日から5月23日まで感染拡大警報を発令いたします。

■ 医療提供体制への危機感

- 本県の感染状況については、鹿児島市や奄美市、知名町の接待を伴う飲食店などで相次いでクラスターが発生し、5月1日に過去最多の60人の感染を確認し、その後も、40人を超える感染者が連日確認され、感染が急速に拡大しております。
- ステージ判断に係る指標を見ると、5月5日時点の「最大確保病床の占有率」が35.1パーセント、直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数が18.48人となるなど、いずれもステージⅢの水準となっております。また、直近1週間とその前の1週間との感染者数の比較においても、4倍程度と高い水準となっております。
- ゴールデンウィーク期間中に人の移動が活発化し、人との接触の機会が増えたことから、今後もしばらく感染者数が増えるのではないかという危機感を持っております。
- 前回の感染拡大警報の発令時との違いは、今回は若い方の感染が多いということです。入院者数について、前回は、80代から90代の方が4割を占めており、60代以上の高齢者が全体の約7割という状況でしたが、今回は80代以上の方は2パーセント、50代以下の方が7割となっております。
- 前回のような、高齢者施設でのクラスターによる感染拡大、医

療の逼迫といった状況とは異なり、今回は無症状、軽症の若い方が活動することにより、知らないうちに感染を拡大させてしまっている可能性があるのではないかと考えております。

- 一方で、今回は変異株の影響もあると思いますが、中等症以上の方の年齢構成について、前回は50代が1割程度でしたが、今回は、30代、40代も多く、50代以下が約6割となっております。若い方でも症状が悪化する傾向が認められており、重症・中等症病床への負担が今後急増する可能性があると考えております。現に、入院患者のうち重症や中等症の患者数も28人となっており、今後増加することが考えられます。
- 県といたしましては、病床確保計画上のフェーズを、現在のフェーズⅢからフェーズⅣに引き上げる準備を進めるとともに、さらなる病床確保、宿泊療養者の施設の確保に努めて参りますが、感染拡大の状況によっては、本県の医療提供体制のさらなる逼迫が強く懸念されます。

■ 鹿児島県の方針

- こうしたことから、ステージ判断をⅢに引き上げ、県民の皆さまに、更なる感染防止対策をお願いすることといたしました。

■ 県民の皆さまへ

- 県民の皆さまに、県外との不要不急の往来自粛をお願いします。

■ 県外の皆さまへ

- 県外の感染拡大地域の皆さまにおかれては、不要不急の来県自粛をお願いします。

■ 営業時間の短縮

- 5月10日（月）から5月23日（日）までの2週間、感染者数が多くなっている鹿児島市、霧島市、奄美市、沖永良部島（和泊町、知名町）の飲食店に対する21時までの営業時間の短縮要請をいたします。
- この期間、営業時間短縮の要請に応じていただいた事業者には、売上高等に応じて、協力金を支給することにいたします。

■ 飲食店の感染防止対策の徹底

- 飲食店における感染防止対策の徹底を図るため、営業時間短縮要請の対象地域を優先しつつ、県内全域における飲食店の感染防止

対策の重点項目、アクリル板等の設置、手指消毒の徹底、食事中以外のマスク着用の推奨、換気の徹底について、現地での確認を行うとともに、アクリル板設置等の支援を行うことといたします。

■ 飲食店を利用される皆様へ

- 「G・O・T・O・イート」、県が発行している「ぐりぶー飲食券」、
「ぐるめクーポン」について、営業時間短縮要請の対象地域においては、21時以降はお店での利用自粛をお願いします。なお、21時までの時間と、デリバリー・テイクアウトでの利用は可能ということにいたしますので、飲食店の皆さまの厳しい状況をご理解の上、そうした形でのご利用をしていただければと思います。

■ 県内での旅行について

- 県民向け観光需要喚起策「今こそ鹿児島の旅（第2弾）」については、国からステージⅡ以下での事業実施を条件とされていることから、旅行商品の新規販売を直ちに停止いたします。

■ 高齢者施設等の感染防止対策の更なる徹底

- 感染者の増加に伴い、今後、高齢者施設等でのクラスターが発生することも懸念されます。
- 高齢者は、一旦感染すると重症化しやすく、入院期間も長期化する傾向にあるため、高齢者の感染防止、特に、高齢者施設等におけるクラスターの発生を防止することが重要であります。
- 高齢者施設等においては、これまでも、感染防止対策に取り組んでいただいておりますが、高齢者施設に新型コロナウイルスを「持ち込まない」「持ち込ませない」「拡げない」の『3ない運動』に引き続き取り組んでいただきたいと思います。
- 併せて、感染対策上、食べる時は黙って食べる、休憩施設ではタバコを吸う時は黙って吸う、お風呂に入る時も黙って入る、いわゆる「黙食」「黙煙」「黙浴」の『3つの黙』の徹底も引き続きお願いします。
- また、「コロナ対策チェックリスト」により、施設の対策の「緊急再点検」を前回の緊急発令のときにしていただいたところですが、今回の変異株の影響や感染拡大を踏まえ、さらなる点検、対策の徹底をお願いします。
- 県としては、チェックリストによる点検の結果に応じて、関係団体等と連携し、高齢者施設の感染防止対策の実地指導いわゆる

ラウンドを今後も行うこととしています。

■ 行動が活発な若い世代の感染防止対策の徹底

- 若い世代における感染の拡大傾向が全国的に見られることから、飲食店に限らず、職場、部活動、サークル活動、寮生活など、これまでの分析によってもクラスターが発生しやすい場での感染防止対策の徹底をお願いしたいと思います。

■ 最後に

- 全ての県民の皆さまに、今後も感染拡大防止へのご協力をお願いします。
- 感染経路が不明な感染者も増えてきていると感じています。いつ、どこで自分が感染するかもしれない、あるいは無症状のまま気付かないうちに周りの人に移してしまうことがあるかもしれない状況になっております。
- 感染リスクを低減させる行動として、3密を避ける、人と人との距離の確保、会食は普段いる人と少人数、短時間で開催する、県のステッカーを取得しているなど、感染防止対策に取り組んでいるお店を選ぶ、検温・手指消毒・マスク着用など、お店の感染防止対策に協力をする、会話時にはマスクを着用して食べながらの会話は控える、接待を伴う飲食店でクラスターが複数発生したことを踏まえ、深夜、長時間に及ぶ飲食を控えるなど、基本的な感染防止対策にご協力をお願いします。
- 職場や家庭内での感染したケースも一定割合存在しており、ゴールデンウィークの期間後さらに増える可能性があります。喚気の徹底、手洗いうがいの励行、家庭内でのマスクの着用など感染防止対策の徹底をお願いします。
- 今回のクラスターにおいても見られましたが、発熱症状など、体調不良の場合は出勤することを控えて、かかりつけ医や受診相談センターに電話で相談の上、きちんと診察・検査を受けてくださいますようお願いいたします。
- これ以上の感染拡大を防ぐためにも、極めて重要な局面であります。県民の皆さまには、一丸となって、危機感を持って、感染防止対策にしっかりと取り組んで乗り越えて参りましょう。
- 県民の皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。